

第9回九州矯正歯科学会学術大会 大会長挨拶

この度、第9回九州矯正歯科学会学術大会を沖縄県にて開催するにあたり、学会長の陶山肇先生はじめ理事の先生方ならびに、会員先生方のご理解・ご協力によるものと、心より感謝いたします。

今回のテーマ「矯正臨床の引き出しをふやそう」はまさに患者様にとって、また我々歯科医師にとっても意義のあるテーマと考えます。

近年、矯正歯科を受診する患者様の中には、治療法（マウスピース型矯正治療・セルフライゲーションブラケット・舌側矯正治療・インプラント矯正治療など）を指定して来院する患者も少なくありません。我々、矯正歯科を専門に行っている歯科医師にとって患者様のニーズを取り入れて治療を行うことは、大変重要ではないでしょうか。

しかし、患者様の要望のみを受け入れた治療計画を立てることは、逆に患者様にとって不利益な状況も考えられるため、我々歯科医師は、多くのエビデンス・臨床経験をもとに治療計画を策定し、患者様に同意を得て最適な治療を行う必要があります。

今回は、特別講演1として台湾から Liaw 先生、特別講演2は昨年薬事承認された矯正用アンカースクリューの講演を渡辺八十夫先生、特別講演3は近年治療技術の進歩が目覚ましいマウスピース型矯正治療の経験豊かな佐本博先生、特別講演4新素材のワイヤーを使用することで、治療期間の短縮が期待できる超弾塑性チタン合金ワイヤーの開発者、長谷川信先生にそれぞれ、ご講演を頂き会員の先生方にとって少しでも、矯正臨床の引き出しがふえていただければ幸いです。

また、市民公開講座として沖縄県立博物館・美術館において、鹿児島県でご開業の田中巽先生にご講演頂き、多くの沖縄県民に矯正治療の概要をお話しいたします。

沖縄の2月はプロ野球キャンプやゴルフなどのスポーツや観光客も大変多い時期で賑わっておりますので多くの先生方・スタッフのご参加を沖縄支部一同心よりお待ち申し上げます。

第9回九州矯正歯科学会学術大会
大会長 崎原盛貴